



2024年6月22日
第51回 定時株主総会
事業報告

ぴあ株式会社
PIA CORPORATION

◆はじめに

ぴあグループでは、2022年の第49回定時株主総会において、“ひとりひとりが生き生きと”した社会の実現を目指す「企業理念」を定款に加筆いたしました。

事業継続のための利益を求める「経済性」とともに、あり得べき社会の姿を求める「趣旨性」の両立を図りながら、エンタテインメントを通じて、多くの人々を元気づけ、心を癒す“感動のライフライン”の構築を目指すことを、当社グループのビジョンに掲げております。

こうした理念に基づいて活動して参りました2023年度について、ご報告させていただきます。

[A] 2023年度業績の概要

- 1. 決算のポイント**
- 2. 業績について**
- 3. 配当について**

[B] 2024年度以降の計画

- 1. 3ヶ年の中期経営計画(2023~2025年度)
について**

[C] 企業理念にもとづく活動報告

1.決算のポイント



- ▶ 集客エンタテインメント市場は、ライブ・イベント開催の動きが活発化し、すでにコロナ禍前を遥かに上回る規模に復調。プロスポーツの盛り上がりや、人気アーティストの全国ツアー、音楽フェスやドーム規模の大規模公演増により、取扱高ベースでの売上は2,400億円規模となり、過去最高の水準
- ▶ 主催イベントやメディア商品の多角化、「ぴあアリーナMM」稼働率の向上、ぴあカード会員の増加等、チケットティングビジネスを核とした周辺事業も好調に推移し、営業利益は期初想定通り、当期利益は想定を上回る結果に
- ▶ 中期経営計画に沿い、新規事業群への戦略的投資活動を強化。同時に、正社員の登用、中途社員の採用や、従業員の給与アップ・待遇改善・福利厚生の実質化といった、人的資本経営への取り組みにも注力した

[A] 2023年度業績の概要

2.業績について ①連結損益計算書



[単位:百万円]

	【前年度】	【2023年度】	【前年度差】
➡ 売上高	32,763	39,587	+6,824
売上原価	20,811	25,886	+5,075
差引売上総利益	11,952	13,700	+1,748
販管費	11,132	12,490	+1,358
➡ 営業利益	820	1,209	+389
営業外収益	197	175	△22
営業外費用	416	462	+46
➡ 経常利益	600	922	+322
特別利益	678	146	△532
特別損失	29	173	+144
税金等調整前当期純利益	1,250	895	△355
法人税等合計	△165	△219	+54
➡ 当期利益	1,415	1,118	△297

[A] 2023年度業績の概要

2.業績について ②連結貸借対照表



[単位:百万円]

資産の部		
	【前年度】	【2023年度】
現預金	26,356	33,919
売掛金	21,612	28,817
商品等	77	91
その他	3,315	3,987
流動資産：前年度比15,454百万の増加		
→ 流動資産	51,360	66,814
有形固定	12,660	12,212
無形固定	6,143	5,914
投資その他	4,634	5,329
固定資産：前年度比18百万の増加		
→ 固定資産	23,438	23,456
→ 資産合計	74,798	90,271

負債の部		
	【前年度】	【2023年度】
流動負債：前年度比8,660百万の増加		
→ 流動負債	56,434	65,094
固定負債	14,009	19,632
負債合計	70,443	84,726
純資産の部		
資本金	5,962	6,444
資本剰余金	2,128	2,610
利益剰余金	△3,583	△2,465
自己株式	△166	△1,063
他包括利益	10	18
非支配株主持分	3	-
→ 純資産合計	4,354	5,544
負債純資産合計	74,798	90,271

[A] 2023年度業績の概要

2.業績について ③連結キャッシュフロー



[単位:百万円]

	【前年】	【2023年度】	【前年度比】
税引き前当期利益	1,250	895	△355
減価償却費	2,354	2,497	+143
売上債権の増減	△5,891	△7,204	△1,313
仕入債務の増減	11,565	14,320	+2,755
その他	384	1,948	+1,564
利息・税金等	△307	△81	+226
→営業キャッシュ・フロー	9,355	12,375	+3,020
無形固定資産の取得	△2,233	△1,456	+777
その他	△1,331	△760	+571
投資キャッシュ・フロー	△3,564	△2,216	+1,348
財務キャッシュ・フロー	△3,797	△2,596	+1,201
キャッシュの増減	1,994	7,563	+5,569
→現預金残高	26,356	33,919	+7,563

3. 配当について



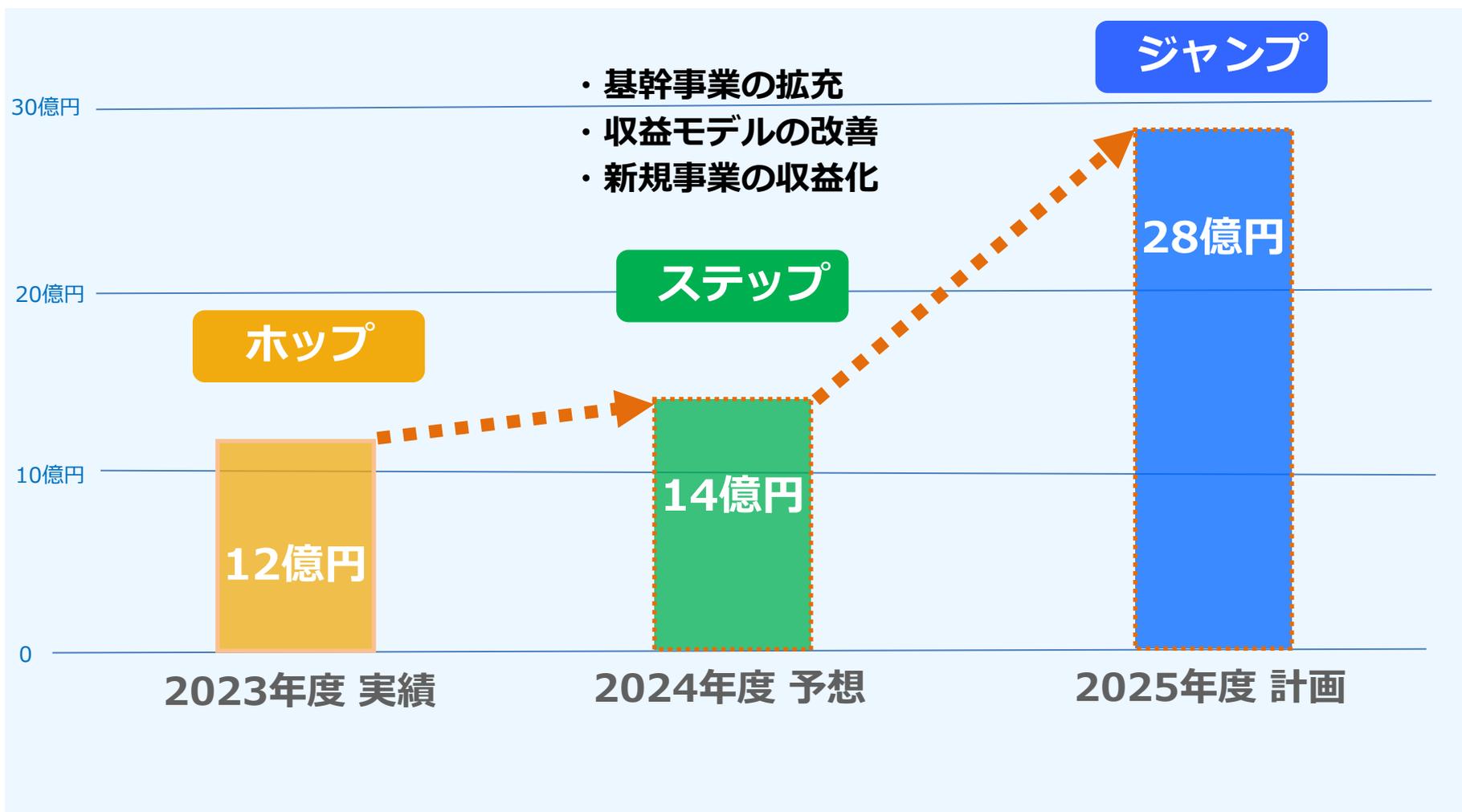
誠に申し訳ございません。

2022年度に続き、2023年度も黒字決算となりましたが、2年余り続いたコロナ禍による多額の累損の一掃には至らず、復配にはもう少しお時間をいただかざるを得ない状況です。

大変恐れ入りますが、何卒ご理解いただけますようお願いいたします。

1. 3ヶ年の中期経営計画(2023~2025年度)

▶中期経営計画の営業利益目標



ぴあは、企業理念「ひとりひとりが生き生きと」にもとづき、「はじめに遊びがあった」を事業活動の原点として、「感動のライフライン」の構築を目指してきました。

“感動のライフライン”は、私たちの生活になくてはならない、文化芸術・エンタテインメント・スポーツといった「集客エンタテインメント産業」が、サステナブルであり続けることを支えます。

そして、誰もがそれを自由に享受できる社会を目指します。同時に、それらの作り手たちをリスペクトし、応援します。

<目次>

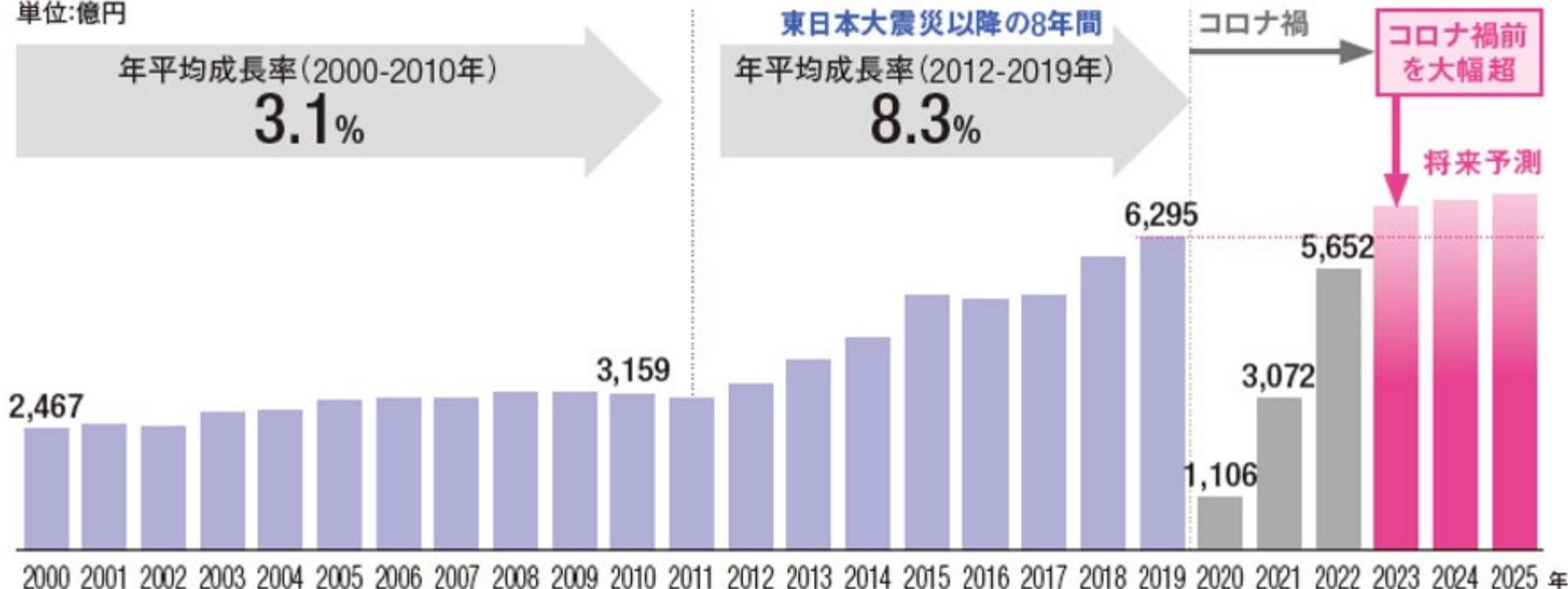
1. ライブエンタテインメント市場の将来予測(ぴあ総研)
2. “感動のライフライン”事業の基本構造

1.ライブ・エンタテインメント市場の将来予測(ぴあ総研)

- ▶2011年の震災以降、右肩上がりに成長するも、2020年～のコロナ禍により、市場の8割を失う壊滅的なダメージを受ける
- ▶コロナ禍明けの2023年は、過去最高だった2019年を大きく上回る7,000億円規模に市場は回復し、今後も当面この傾向は続くものと予想

ライブ・エンタテインメント市場規模(音楽+ステージ)の将来予測

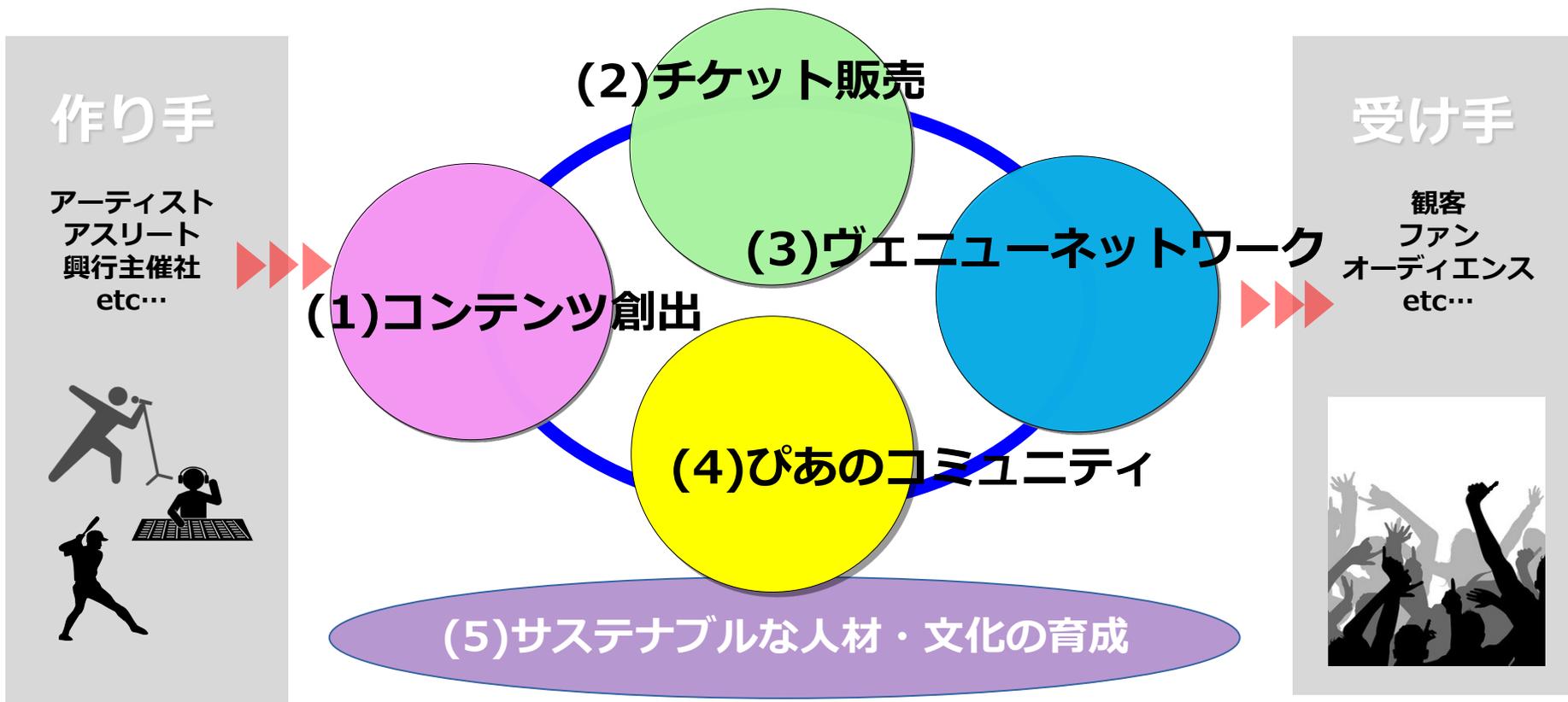
単位:億円



※将来予測シナリオは2023年12月推計値

2.“感動のライフライン”事業の基本構造

コンテンツの創出、チケットの販売、ヴェニューネットワーク、コミュニティの4つの要素で、エンタテインメントの作り手と受け手を一気通貫に繋ぎ、集客エンタテインメント業界のサステナブルな発展を目指す



2. “感動のライフライン”事業の基本構造

(1)コンテンツ創出



①音楽フェスや演劇、花火大会など、地域性を生かした良質なコンテンツの創造、映画製作やアジアマーケットへの進出など、コンテンツ企画製作ビジネスを多角化



PIA MUSIC COMPLEX 2023 -ぴあフェス-

東京都若洲公園にて、32組の人気アーティストを招いた野外音楽フェスを主催、約3万人を動員。マイナンバーカードの実証実験も実施された



全国のパンを特集した出版物との連動からスタートした「パンのフェス」2024 in 横浜赤レンガには約15万人が来場



タイ俳優のファンイベントを主催、タイフェスティバルも同時開催



約100万人を動員する
神宮外苑花火大会



PFFスカラシップによる作品『すべての夜を思いたす』(清原惟監督)がベルリン国際映画祭に正式出品



KPOPの音楽祭
Music Bank Global
Festival 2023



三菱地所との合併会社「MECぴあクリエイティブ」主催
POKÉMON COLORS
YOKOHAMA

2. “感動のライフライン”事業の基本構造

(1)コンテンツ創出



② 新たな切り口の創出や、異業種アライアンスによる、メディア商品の多角化

大ヒットした厚切りジェイソン氏の続編や、大谷翔平選手の語録などが引き続き好評

8万部



大ベストセラー『ジェイソン流 お金の増やし方』の続編が登場

15万部



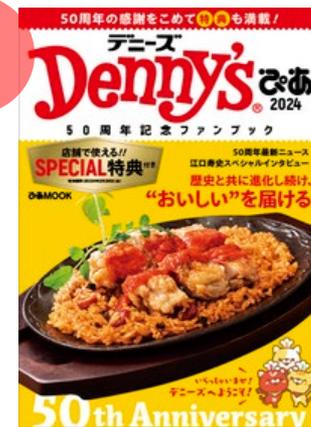
大谷選手の高校時代、日ハム時代の語録集

4刷



人気バンド結成10周年を記念した初の公式本

2刷



デニーズ50周年記念のファンブック

③ アプリ版「ぴあ」の進化

情報誌『ぴあ』のコンセプトを引き継ぎ、エンタメとの“偶然的出会いと発見”を提供する「アプリ版ぴあ」は、5年半で185万ダウンロードを突破、WEB版も展開。「パーソナライズ」をテーマに、株主様には無料でお楽しみいただける有料会員向けの特典・サービスも拡充。

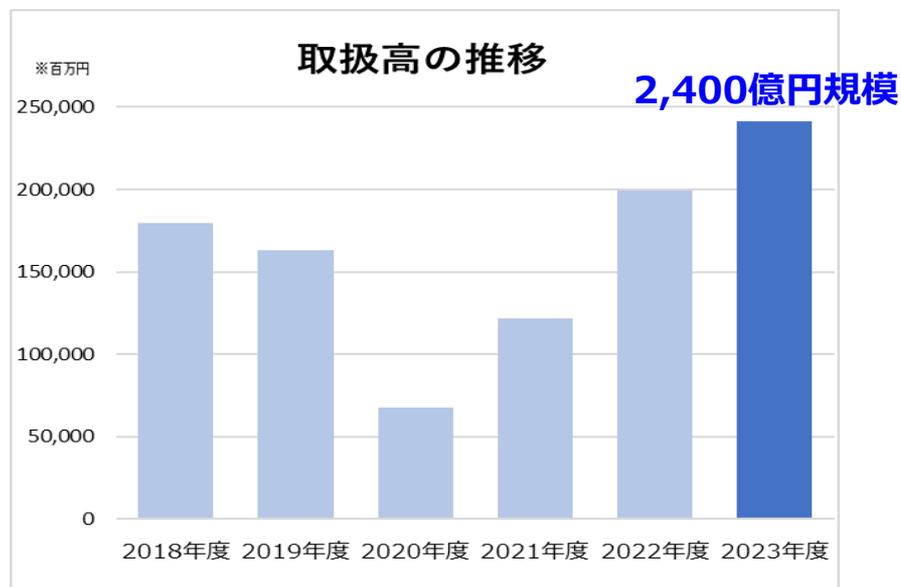


2. “感動のライフライン”事業の基本構造

(2) チケット販売



① 取扱高はコロナ禍前を上回り、過去最高に



- ▶ チケットぴあの登録会員数：約2,000万人
- ▶ 年間のチケット発券枚数：約8,000万枚
- ▶ 全国の発券ネットワーク：約38,000ヶ所
- ▶ 取引先：約40,000社
- ▶ 取扱い興行数：約160,000件
- ▶ ソリューション提供先：約200社
大手興行元/主要ホール劇場/テレビ局/
プロスポーツ団体(野球・サッカー・相撲etc)/
プロスポーツチーム/劇団/プロダクション/等

② 大阪・関西万博のチケットティング業務を全面的に受託、入場券販売をスタート



当社グループからもスタッフを派遣し、昨年11月よりチケットの販売をスタート。開催は来年4月～10月の6ヶ月間。開催期間中の入場管理に至るまで、長期にわたる受託事業の完遂を目指す



2. “感動のライフライン”事業の基本構造

(2) チケット販売



③ ホスピタリティサービス事業の本格化

ワンランク上の感動体験を提供する「ホスピタリティプログラムチケット」は、すでに欧米では広く普及。当社グループでは、日本で初めてこのサービスの本格展開をスタート。様々な限定企画や特典をパッケージし、エンタメ鑑賞の付加価値を高めるとともに、市場の拡大とサステナビリティ強化を図る



現在販売中のホスピタリティチケット



7/27(土)
ヴィッセル神戸 vs トッテナム ホットスパー
明治安田Jリーグワールドチャレンジ2024
powered by docomo(国立競技場)



9/25(水)～10/1(火)
木下グループ ジャパンオープンテニス
(有明コロシアム)



11/4(月・祝)
バレエ「眠れる森の美女」
(新国立劇場)

2. “感動のライフライン”事業の基本構造

(3)ヴェニューネットワーク



日本初の民設・民営の大規模アリーナ「ぴあアリーナMM」や、ライブハウス「豊洲PIT」「仙台PIT」に続き、八重洲の新劇場の運営も受託

ぴあアリーナMM(横浜・みなとみらい)は、週末は1年半先まで予約が埋まる好況



豊洲PIT(東京)



仙台PIT(宮城)



2025年度竣工予定「東京駅前八重洲一丁目再開発事業」の新劇場



ぴあアリーナMMの多角的展開、地域との連携

ぴあアリーナMM直営の「カフェ・ブルーベル」は、イベント開催日以外も通常営業中

PIA
MUSIC
COMPLEX
2024



11月の「ぴあフェス」では、周辺エリアや駅構内とも連動した地域ぐるみの街イベントも開催



“感動のライフライン”を繋ぐぴあのコミュニティ



①チケットぴあ

集客エンタテインメント市場のプラットフォームを構築する、日本最大のチケットエージェント

▶チケットぴあの登録会員「ぴあ会員」数：約2,000万人

▶取引先：約40,000社／ソリューション提供先：約200社

②ぴあカード

チケットの先行販売や当選率アップの特典、各種割引サービスの適用など、エンタテインメントファンの活動をバックアップする、ぴあならではのカードサービス。三菱UFJニコス社、JCB社のブランドで、会員数は現在約33万人



③アプリ版ぴあ

スタート以来5年でダウンロード数は約185万人、「ぴあアプリ/WEB」も展開中。ぴあの会員はいずれも、コミュニティ意識を持つ方々が集まる



④PANX(ぴあ朝日ネクストスコープ)

発行部数430万部、デジタル版で約3,500万UU/月を誇る朝日新聞との協業により設立。ぴあ会員約2,000万人、年間発券枚数約8,000万枚の購買履歴など、国内最大級のライブエンタメユーザーデータを共同利用した、広告ターゲティング、マーケティングなどのソリューションを提供。「ウレぴあ総研」「ぴあアプリ/WEB」も展開中



2. “感動のライフライン”事業の基本構造

(5) サステナブルな人材・文化の育成



① ぴあ総研による産業としての文化育成

2022年度より、過去2回に比べて「集客エンタメ産業の未来に向けた、社会的意義と本来的価値」について議論を深めてきた本シンポジウムは、今年度はさらに先を見据え、集客エンタメが社会の「裏の裏かき」の実現にどのように貢献できるのか、そして、その価値をいかに社会に実装するかに焦点を当て、「実践の懸念」を議論します。

第1部 基調講演
 今迄におけるスポーツ地域創生の未来
 岡田 武史氏
東京大学名誉教授・元日本代表監督

第2部 ぴあ総研活動報告
 「社会実装を促進するための共同研究」
 菅井 裕子氏
ぴあ総研 研究開発部長

第3部 パネルディスカッション
 集客エンタメを核とした地域活性化をいかに実現し、社会に実装するか
 野田 雅夫氏 亀田 誠治氏
野田氏：元NHKアナウンサー・元NHK社長 亀田氏：元NHKアナウンサー・元NHK社長

第4部 講演ワークショップ「ライフライン」
 地域活性化のあり方について
 山手 博史氏
ぴあ総研 研究開発部長

第5部 表彰式
 第45回 PFFアワード2023 表彰式
 菅井 裕子氏
ぴあ総研 研究開発部長

2024.5.24 [金] 14:00~17:00 13:30開場
 主催：ぴあ総研 会場：丸ビルホール

ご招待 (参加費無料)
 右のQRコードまたは、下記URLからお申し込みください。
<https://forms.gle/CRZq9b9wx882NkWPA>

お問い合わせ先：ぴあ総研株式会社 E-mail: pia@pia.co.jp URL: www.pia.co.jp

2022年より、集客エンタメ産業の社会的意義について提言するシンポジウムを開催。先進的な実践例やぴあ総研の研究内容をもとに、集客エンタメ産業による地域活性のあり方を模索

今回の基調講演は岡田武史氏

② PFF(ぴあフィルムフェスティバル)

創業来の文化の育成、人材の支援



第45回ぴあフィルムフェスティバル「PFFアワード2023」表彰式での受賞者と審査員



第5回「大島渚賞」では、世界へ羽ばたこうとする若い才能を顕彰

18 文化芸術・エンタテインメント・スポーツで心豊かな暮らしと社会を



ぴあグループで作成したSDGs18番目のマーク

ぴあグループでは、心豊かな暮らしと社会のために、SDGs大項目の18番目に、文化芸術・エンタテインメント・スポーツの必要性を説き、あらゆる人々の文化的活動を強化・支援することを提言



JAPAN AIRLINES



日本航空とPFFが連携し、JALの国際線&国内線機内で、PFFアワード受賞作の上映がスタート(5月~)

PFF出身の山中遥子監督の『ナミビアの砂漠』が、カンヌ国際映画祭で国際映画批評家連盟賞を受賞

2. “感動のライフライン”事業の基本構造

(5) サステナブルな人材・文化の育成



③ 「ぴあ落語ざんまい」スタート

約200名の落語家による、2,000本超の実際の高座を収録したサブスクサービスをスタート。伝統芸能の持続可能な環境の維持、若い世代の活躍推進をも目的とした、ぴあの新たな取り組み



新宿末廣亭

④ ぴあスポーツビジネスプログラム



国際的なイベントや、スポーツ団体のオフィシャルパートナー受託を通じて培ったノウハウを生かし、スポーツビジネス業界で活躍するための資質を、講義と実践を通して学べるビジネススクールを開講(4期目)

⑤ 人的資本経営への取り組み

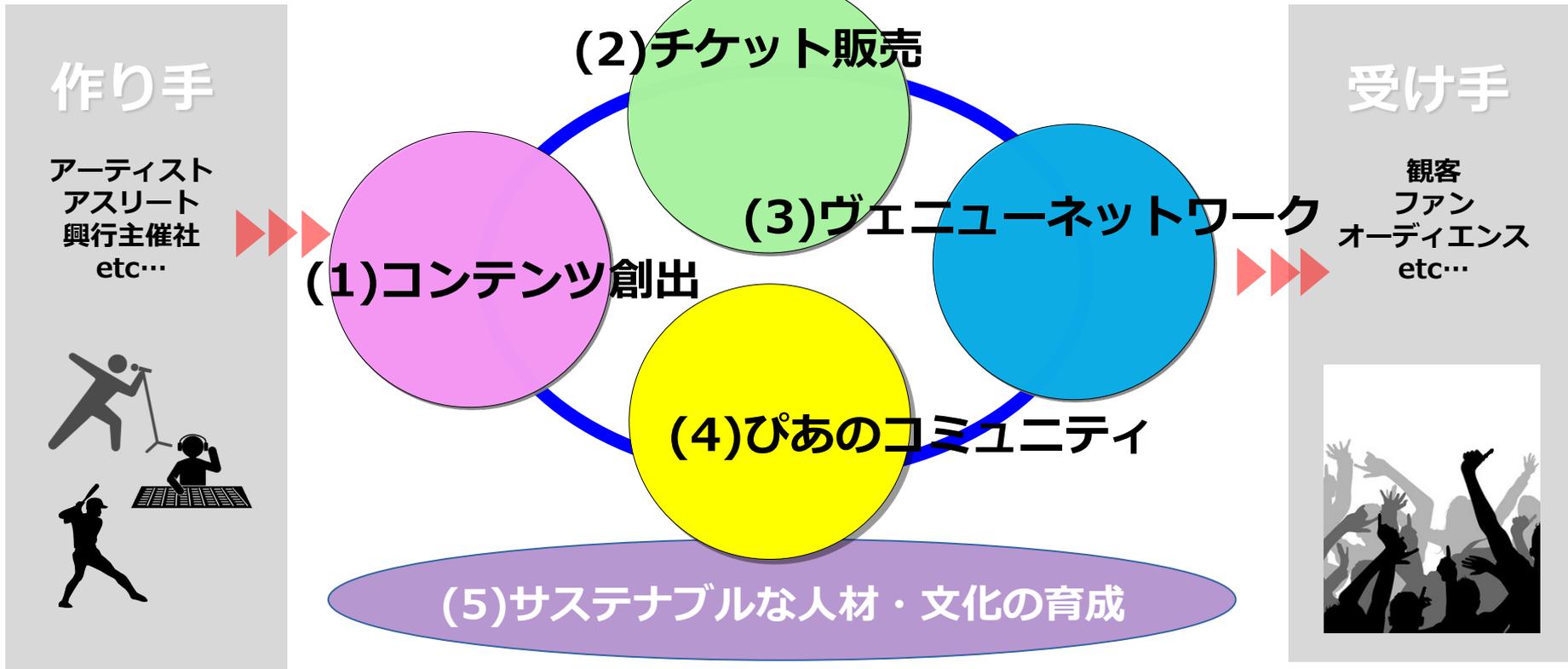


現在、22の公認クラブが活動中

平均約9%の給与アップを行うとともに、一般職正社員制度を導入し、契約社員約40名を正社員に登用。

職場環境の改善も含め、やりがいの向上や働き方の改革を推進中。また従業員のエンタメ鑑賞や、公認クラブ活動への補助金も支給し、生き生きとした生活を支援する

利益を求める「経済性」と、あり得べき社会の姿を求める「趣旨性」の両立を図りながら、集客エンタテインメントを通じた、“感動のライフライン”の構築を目指してまいります





ご清聴ありがとうございました

